

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	新 井 田 昭 男	
<p>1. 木古内町の水産業衰退に対する対策について</p> <p>町では、木古内町第5次振興計画の検証の中で、「平成元年では漁家106戸・漁業就労者186人で、平成10年では67戸・102人と大きく減少している。新規就業者や後継者の減少で漁業就労者の高齢化が年々進行しているため、新たな支援制度の確立が急がれる。」また、施策面では「漁業の担い手の育成や確保のため、就労環境等の整備を図り、新規就業希望者への情報提供や交流活動を促進します。」と記載していますが、確認の意味でこの10年間でどのような成果があったのか。</p> <p>また、木古内町第5次振興計画から木古内町第6次振興計画への水産業に対する掲載文言もおおむね同様としている中で、最優先課題である支援制度の成果も全く見受けられず、新規就業者・後継者・高齢化対策が平成元年、平成10年、平成20年までの漁家数、就業者数の分析の記載のみとなっている。これに対し、施策のテーマの中に具体的な対応策が記載されない。</p> <p>今後、行政として現状を踏まえた中で我が町の水産業衰退に対する歯止め策をどう講じるのか。補助対策・新規就業者対策・後継者対策の観点から町長の見解を伺います。</p>			町 長
<p>2. 子育て支援策としての「保育料・給食費の無料化」について</p> <p>少子高齢化、人口減対策としてようやく政府も重い腰を上げ始めた状況の中で、先の定例会において我が町の人口減対策について尋ねました。</p> <p>町長答弁の中で、「我が町もその事に対応すべく人口減対策検討会議を設置、人口減少歯止めに関する様々な視点により対策を講じる。」との答弁をいただきました。我が町も既に、保育料の軽減や中学生までの医療費の無料化、学校給食費の半額助成等の対策を講じていますが、昨今のお子様をお持ちのお母さんがたより更なる子育て支援策として、「保育料・給食費の無料化」について強い要望が出ています。</p> <p>特に、我が町における子どもの数の減少などの事情を鑑み、子育てに対する不安を払拭するために早急な対策が必要と考えますが、町長並びに教育長の見解を伺います。</p>			町 長 教 育 長